

AI 業績覚醒

法人向けChatGPT 業績覚醒AI

生成AIの業務活用を簡単・確実・安全に

機能説明資料vol.1.1

浜島防災システム株式会社



ChatGPTのビジネス活用における課題

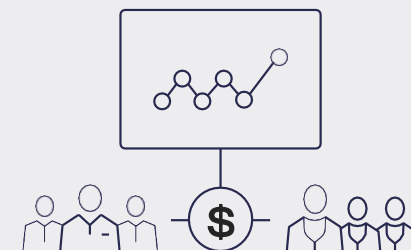
使いこなせる会社にとっては大きな費用対効果があるが
そこに至るには容易ではない



セキュリティ面での不安は拭えない
運用ルールの策定だけでは無理がある



導入の意志はあるが
具体的な業務活用イメージが明確でない



1アカウント数千円と手軽だが
組織全体で導入すると高コストとなる

ChatGPTの現状と理想



高機能であることは間違いないが、前提として海外の個人ユーザー向けの管理画面となっている
英語での管理画面で日本語翻訳しても日本人には馴染みの無い用語が多い

	現状	理想
セキュリティ	他のユーザーと同じ環境下での利用 全てが運営元に提供され学習されるリスクがある 社内の利用状況を確認することができない	独自に構築したサーバーでの管理 利用企業ごとに個別の環境を構築 管理者は社内の利用状況を把握
用途	アイデア次第で何でも可能（と思われがち） 能動的な使い方やプロンプトの工夫が必要	ビジネス活用、業務改善に特化 始めてAIを使う人も自然に成果を得られる
管理画面 機能	英語で翻訳が不自然・不明なボタンも多い 英語に慣れれば自社独自のGPTsも構築可能 グラフ化や集計には専門的なスキルが必要	日本語で迷わずシンプルな設計 初見でも簡単に自社独自のGPTsが構築可能 グラフ化や集計も日本語で設定が可能
費用 サポート	会社単位での利用は月30ドル～ サポート体制は皆無 自社独自に環境構築すると数千万円～	安いに越したことはない 些細なことも教えてほしい

法人向けChatGPT「業績覚醒AI」とは



ChatGPT法人利用で課題となる「セキュリティ」「活用促進」「利用料金」を解決した当社開発の独自AI製品

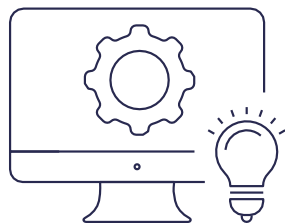
ChatGPTを誰でも簡単、確実、安全に活用できる
業務特化型ChatGPT「業績覚醒AI」

セキュリティ	導入企業ごとに独立した環境を構築 ISOに基づいた情報セキュリティマネジメント
機能	標準ChatGPTと同等（GPT-4oを基盤） 類似法人向けChatGPTと同等以上
活用支援	誰でも使える独自GPTを搭載 豊富な活用支援講座
費用	標準ChatGPTより業績覚醒AIの方が安い 類似法人向けChatGPTの中で最安値を実現

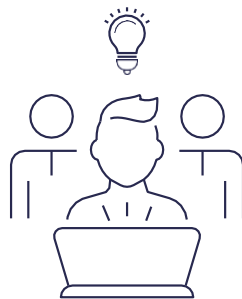
業績覚醒AI導入のメリット

ChatGPTのビジネス活用における課題を全てクリア

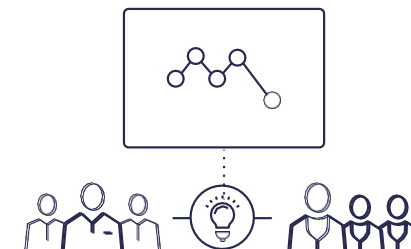
ChatGPTに標準搭載されていない機能も業績覚醒AIでは実装し、サポート万全で更に低単価を実現



独自にサーバー運用を行い
利用企業ごとに個社別テナントを構築



日本語特化のインターフェイス
業務改善に使える機能が満載



1アカウント1000円～
プラン内であればID発行制限なし

業績覚醒AIの特徴



ChatGPTを「日本人」向け、かつ「ビジネス活用・業務改善」に特化させている

	ChatGPT	業績覚醒AI
セキュリティ	OpenAI社に依存 不明な点も多く確認も困難	ISO認証企業による利用企業ごとの環境構築 国内企業のため対応も迅速・丁寧
アカウント管理	通常プラン（月20ドル）は不可 チームプラン（月30ドル）で可能	基本機能として追加費用なく搭載
利用状況把握	×	基本機能として追加費用なく搭載 利用頻度・利用内容を管理者は把握可能
UI/UX（管理画面）	英語で個人ユーザーを想定 初見で全ての機能を把握することは厳しい	ビジネス活用・業務改善に特化 初見で全ての機能を簡単に把握できる
業務特化GPTs	△ 300万以上の中から探すか、自分たちで考え構築する	○ ホーム画面にシーン別で業務特化GPTsが搭載
MyGPTs機能	組織内共有はチームプラン（月30ドル）で可能 しかし、作成者しか中身を管理・修正できない	組織内共有も基本機能として搭載 管理者アカウントであれば誰でも管理・修正可能
グラフ/スコア化・集計	△ コード追加で実装可能	○ 日本語の指示で誰でも可能
PC音声入力	×	○ ロープレや議事録作成などで活用可能
利用料金	個人申込プラン月20ドル（約3,000円） 法人申込（チーム）プラン月30ドル（約4,500円）	月1000円～

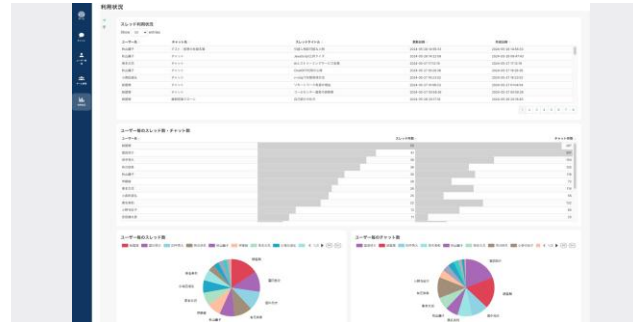
業績覚醒AIの機能

セキュリティ/ログイン画面



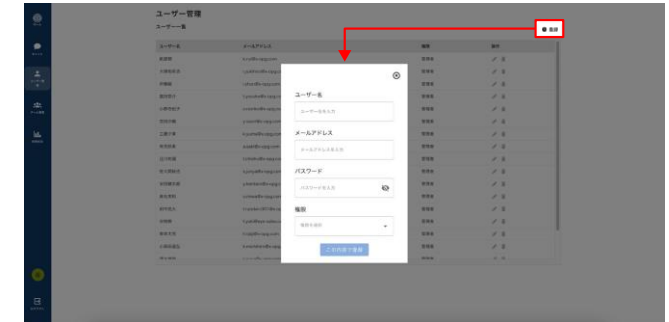
- ・ 当社独自に運用環境を構築
- ・ 導入企業ごと個別に利用環境を用意
- ・ 外部漏洩や学習リスクを無しに

利用状況の把握



- ・ 社内の利用頻度を確認できる
- ・ 活用状況を把握し事例展開も可能

アカウント作成も自由



- ・ 月10,000円（5IDまで） 追加ID 2,000円
- ・ 月30,000円（20IDまで） 追加ID 1,500円
- ・ 月50,000円（50IDまで） 追加ID 1,000円
- ・ 付与ID内であれば、作成削除は自由

通常のChatGPT

- ・ 自社データが外部に学習される
- ・ 個人情報の漏洩リスクが高い

- ・ 組織内の利用状況は見れない
- ・ 事例展開も難しい

- ・ ID課金(月20~30ドル/3,000~4,500円以上)
- ・ 個々で契約し、経費申請

圧倒的な低コスト

自社専用のChatGPT利用環境を構築するには、最低でも数百万円～数千万円は必要となります。そんな中で、業績覚醒AIは初期費用30万円以下、月々1万円～数万円で自社専用のChatGPT利用環境を得ることができ、有り得ない価格設計を実現しています。さらに、その価格内で、自社データを学習させ独自のGPTsを構築することもでき、他社には真似できないAI製品として開発しました。

高度な安全性

業績覚醒AIは当社独自でサーバー構築と運営を行っており、ChatGPT開発元である米国OpenAI社へのAI学習リスクを解消し、外部からの情報保護も強化しています。当社は、Pマークは当然として、情報マネジメントシステムの国際規格であるISO/IEC27001の認可企業でもあります。業績覚醒AIは、上場企業、中でも情報管理が極めて厳しい製薬企業大手にも導入されるなど、その安全性は実証されており、安心して法人活用をしていただけます。

徹底した活用支援と業務特化機能

ChatGPTを使いこなすには、プロンプト作成能力が重要でリスクリングの必要性が説かれています。一方で、業績覚醒AIは、当社が代わりに汎用的なGPTsを設計し提供することで、個人差が生じる能力育成に依存することなく誰でも業務で活用され、社内に浸透します。並行して、利用企業のデジタル人材育成も行い、毎月ユーザー向けに追加費用なく受講できる基礎から実践までカバーした勉強会を開催しています。

業績覚醒AIのデメリット

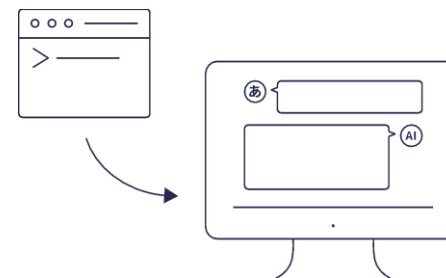
業績覚醒AIはビジネス活用・業務改善に特化しているため
それ以外の用途における汎用性ではChatGPTに劣る（その場合は、併用を推奨）

画像生成機能を使いたい場合



特定部署のみの活用のため非搭載
特定部署はChatGPT、組織全体は業績覚醒AIという
組み合わせを推奨

自らコードを打ち込み
カスタマイズしたい場合



いくらカスタマイズできてもセキュリティ面の懸念が
解決するわけではないし、触る人も限られる
要望があれば業績覚醒AIでも別途オリジナル設定も可能

業績覚醒AIの料金体系



ChatGPTのビジネス活用から不要な部分を削り、足りない部分を補った上で、かつ圧倒的にコストを抑えられる

初期費用	トライアル	ベーシック	ビジネス
各社毎に安全な環境構築 個別導入説明会で活用支援	ChatGPTを初めて有料化し 活用を試したい企業向け	ChatGPTを初めて有料化し 活用を試したい企業向け	ChatGPTを初めて有料化し 活用を試したい企業向け
300,000円/回	10,000円/月	30,000円/月	50,000円/月
初期環境設定 (専用テナント構築) 導入勉強会 プロンプト作成講座	ID発行：5名まで 追加ID：2,000円 GPT-4o使用 搭載Opsチャット利用 自社専用チャット作成5個 50万トークン付与	ID発行：20名まで 追加ID：1,500円 GPT-4o使用 搭載Opsチャット利用 自社専用チャット作成無制限 150万トークン付与	ID発行：50名まで 追加ID：1,000円 GPT-4o使用 搭載チャット利用 自社Chat作成無制限 300万トークン付与
ChatGPTチームプラン30ドル対比 約4,500円（1ドル約150円換算）	約56%オフ ID換算：2,000円	約68%オフ ID換算：1,500円	約79%オフ ID換算：1,000円

よくいただくご質問

価格表示：全て税抜き表示
契約期間：12ヵ月単位 / 6ヵ月単位も月費用20%増にて可
支払方法：クレジットカード
利用開始：利用料の決済確認後に管理者アカウント付与

ID発行：決済後1～3営業日程度で環境構築しID発行
文字追加：各プラン共通で追加100万トークンで15,000円/回
ID追加：月途中での追加も、当月の日割はなし

プラン変更：契約期間内でも変更可能だが月途中の変更による当月分の日割はなし